



# 国民春闘共闘

2026年度 第9号  
2026年3月16日

国民春闘共闘委員会  
〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館  
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

## 26 国民春闘 3・12 全国統一行動①

### 低額回答・回答先延ばしにストライキで抗議!

国民春闘共闘委員会は26国民春闘集中回答日翌日の3月12日、全国統一行動を展開しました。低額回答、回答先延ばしなど、物価高騰が続く中、労働者の切実な要求に対して不誠実な回答に抗議して多くの仲間がストライキ決起しました。全国各地でストライキ支援行動をはじめ、職場集会、街頭アピール行動など多彩なとりくみが行われました。

#### 日本医労連～ほんともう限界！月額5万円以上の賃上げ、報酬10%アップを



日本医労連では大幅賃上げと報酬10%アップなどを求めて73組合がストライキに立ち上がったのを含めて全国で147組合(3月16日12時集約段階)が行動にとりくみました。

東京民医労南部医療支部では8時30分から病院玄関前でストライキ行動を実施し、支援者を含め59人が参加しました。執行部から「定昇のみ回答。ベースアップ評価料は取得するもののベースアップをしようとする退職金に連動するので手当

とする」などの回答がされたことを報告されました。一方、「難しい」とされてきた育児時短の対象年齢拡大について前向きな姿勢を示させるなど前進面も報告があり、「組合員が団体交渉に参加して実態をぶつけることが経営の回答を変える」と強調されました。スト参加者からは「ベースアップで給料が上がれば人員も増えて、働き方も変わる」、「良い医療・介護をしたいと思っただけでは生活できない。ベースアップが必要」と切実な思いが語られました。

東京医労連は、厚生労働省前で宣伝行動を実施。その後は銀座をパレードして、ケア労働者の大幅賃上げと処遇改善を訴えました。行動には25組織から95人が参加しました。厚生労働省前でマイクを握った東京医労連の嘉瀬執行委員長は、「現場は深刻な人手不足で、物価高騰により生活も苦しく、『やってられない』というのが労働者の思いだ。経営と労働者を守るためには10%以上の報酬改定が必要であり、厚生労働省には政策を見直し、早期に大幅な報酬改定を実現することを強く求める」と訴えました。

山形県医労連では、他産業と比べかけ離れた低額回答に対して、「医療従事者の待遇はととても低く抑えられ、業務の忙しさから現場は疲弊している。ほんともう限界」と9組合がストライキに入りました。山形駅前での署名・宣伝行動にもとりくみアピールしました。

全労災では統一要求ゼロ回答、賃上げについても具体的な回答が示されなかったことに対して、就業前1時間のストライキと日勤者の時間外労働拒否の行動を行いました。

さいたま赤十字病院労組は、始業時1時間のストライキを行いました。病院前での集会の後、院内に会場を移し、交渉報告が行われました。集会の挨拶で、全日赤さいたまの大崎委員長は「職場の改善を勝ち取るためには、数を増やして強い組合にしなければならない。一人ひとりが、組合員を増やすことを意識して行動しよう」と呼びかけました。

長野県医労連では、全日赤長野が30人で朝29分間のストライキを実施、新聞報道もされています。中信民医労ではストライキに50人が参加しました。午後から実施の駅前宣伝には115人が参加し138筆の署名を集め、その後、市内をデモ行進しました。この行動は夕方のニュースで放映されました。

長崎民医労は定期昇給のみの回答に対し、14人の参加で指名ストライキを実施。病院前のスト集会や患者向け宣伝、診療所前での街頭宣伝などを実施しています。



## JMITU～第二次産別統一ストライキに 22 支部分会が決起！

産別統一回答指定日翌日の 3 月 5 日、JMITU では全国 32 支部分会がストライキに決起したのをはじめ、昼休みや就業後の抗議集会、門前宣伝など不誠実な回答への抗議と大幅な回答上積みを求める統一行動を展開しました。第二次産別統一ストライキ日の 12 日にも 22 支部分会(3 月 13 日集約現在)がストライキ行動に決起。全国各地でストライキを軸にした統一行動や地域でのストライキ支援行動を実施しました。通信産業本部は全国でストライキに突入し、各地の事業所前でスト集会と宣伝行動を展開しました。

### 内部留保の 5.16%で、月額 4 万円・時給 400 円の賃上げと物価高生活援助金の支給は可能

東京・大手町の NTT 持ち株会社前でのストライキ集会には、支援の仲間を含めて 70 人が参加しました。あいさつに立った JMITU の三木陵一委員長は、AI 活用を推進し 290 億円の利益改善を目的とする NTT の 1 万 5,000 人リストラ計画に触れ、「AI の進歩による業務改善するならば、行すべきは人減らしではなく、労働時間の短縮」と訴えました。



JMITU 通信産業本部の宇佐美俊一委員長は、回答指定日に回答を示さないことに抗議の意を示しました。そして、25 春闘で NTT は 15,000 円の賃上げを回答したが支払基準は示さず、ほとんどの社員は 3,220 円の賃上げであったと暴露。対外的なごまかし賃金回答だと批判しました。「NTT の内部留保 10 兆 9,760 億円のうち、5.16%を切り崩せば、我々が求める全社員への月額4万円・時間額 400 円の賃上げと 24 万円の物価高騰に対する生活援助一時金の実現は可能だ」と訴えました。

能だ」と訴えました。

激励あいさつを行った国民春闘共闘・秋山正臣代表幹事(全労連議長)は、物価高と実質賃金の低下で生活が苦しい今だからこそ、労働組合に結集してたたかおうと語り、NTT に社会的責任を果たすことを求めました。

### 大幅な回答上積み求めて“怒り”のストライキ！



東京北部地協では、鈴木シャッター支部のストライキ支援の行動が行われ、夕方からは北部春闘共闘の集会に同流しました。鈴木シャッター支部のストライキ行動には 30 人余りの仲間が参加。支部委員長は「去年は 1,000 円の大幅上積みとなったが、今年は 3 回の団体交渉で 200 円の上積みと昨年より大幅減となった。職場の団結をつくっていこう」と呼びかけました。支部書記長は、「4 月下旬にならないと予算が分からないと回答を受けたが、本来ならば 3 月時点で予算が組まれていなければならず、今の段階で分からないという回答はありえない」と訴え、団体交渉後の報告集会では、怒りと不満の声も多く、半日ストに突入したことを報告しました。

東京東部地協ではほとんどの支部が半日ストライキに決起し、東京・北千住で約130人が参加して統一ストライキ集会を開催しました。集会後、デモ行進で市民に春闘勝利をアピールし、デモ終了後、駅前で宣伝行動に取り組みました。



東京西部地協では2支部がストライキに入るリレーストライキにとりくみました。

東京南部地協では地域労連との共同のとりにくみを実施し、埼玉地本では、県労連や地域労連が激励に駆け付け、職場激励と回答促進の行動が終日展開されました。大阪地本では3支部が半日ストに入ったのをはじめ、指名ストなどで大阪総行動に参加しました。兵庫地本では通信産業本部兵庫支部のストライキ、団交前集会などをつなぐ激励行動が行われました。

### 映演労連～26春闘要求実現！働くもののいのちとくらし、 雇用をまもるためのストライキ

映演労連では角川映画労組営業支部・撮影所支部、松竹労組、日活労組、東映化工労組がストライキを含む決起集会を開催しました。国際放映労組では時間内組合活動による決起集会を実施しました。

松竹労組は、26春闘要求に社員組合員・専門職社員・継続雇用契約社員・契約社員は月額45,000円(11.6%)をアルバイト従業員時給300円以上、夏季一時金は3.5ヶ月+物価上昇分を掲げ、付帯要求として定年継続雇用契約社員への家族手当支給、特別休暇制度の改善、有給休暇消滅時の買い取り、「ウェルネス休暇」の設置などを掲げています。12時20分から東銀座の東劇ビル1階の裏手にあるコンコースでストライキを含む決起集会を行い、情勢報告と意思統一をはかり70人余りが参加しました。ポイント解説や経過報告では、組織変更の問題や大阪・道頓堀の象徴的な劇場「大阪松竹座」が老朽化のため2026年5月ビル全体を閉鎖すること。一時金交渉を年1回にする提案が出されていることなどが報告され、春闘要求アンケートで示された「もっと休みと賃金がほしい」という要求を、現場でのみんなの踏ん張りで勝ち取ろうと意思統一しました。

日活労組は本社前と撮影所をオンラインでつなぎ、50人以上が参加してストライキ集会を行いました。当該の高橋委員長は挨拶の中で「日活の賃金は、数年だけ日活にいて、その後は他社へ行ったほうが良いなどと言われたりする」と憤り、「助手、技師の業務格差の是正など、今後も交渉し求めていく」と述べました。篠原書記長は、「個別の要求への回答は、『検討する、今後説明する』などに終始し、具体的な回答はない。さらに交渉していく」と交渉報告と決意表明を行いました。映演労連の金丸副委員長は、「いのちとくらしの問題は切実だ、高市首相は去年並みの賃上げというのが全然足りていない」と述べました。オンラインでつないだ撮影所からも映演労連の飯野委員長や宮下書記次長から挨拶と決意表明がされ、団結ガンバロウで集会を締めくくりました。

